

宮城県感染症発生動向調査情報

平成29年3月2日発行

— 2017.2.20～2017.2.26—第8週—

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙 台 市 患者数	宮 城 県 (含 む 仙 台 市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第5週	第6週	第7週	第8週
水痘	1 0.20	3 0.30	1 0.20		3 1.00	2 0.40	1 0.50	4 0.15	15 0.25	226			○	レ
流行性耳下腺炎						1 0.20		4 0.15	5 0.08	93				
百日咳									0 0.00	1				
感染性胃腸炎	18 3.60	23 2.30	6 1.20	13 6.50	12 4.00	5 1.00		109 4.04	186 3.15	1,616	◎	◎	◎	◎
手足口病		2 0.20							2 0.03	10				
伝染性紅斑		1 0.10						2 0.07	3 0.05	18				
突発性発しん	3 0.60	5 0.50	4 0.80		3 1.00	1 0.20		9 0.33	25 0.42	199	○	レ	○	○
ヘルパンギーナ									0 0.00	0				
インフルエンザ	289 36.13	189 12.60	138 17.25	46 15.33	100 20.00	218 27.25	27 6.75	814 18.50	1821 19.17	18,764	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱		2 0.20			1 0.33	1 0.20		16 0.59	20 0.34	89				
流行性角結膜炎	1 1.00							1 0.17	2 0.17	17				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	54 10.80	32 3.20	5 1.00	4 2.00	1 0.33	54 10.80	13 6.50	68 2.52	231 3.92	1,378	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)								1 0.20	1 0.08	2				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎								1 0.20	1 0.08	57				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	2 0.40		3 0.60			1 0.20		4 0.15	10 0.17	79				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)								1 0.20	1 0.08	4				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	8	2				1	8			◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向			
	川崎病							2						
	不明発疹症	1						3						

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 21例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

塩釜管内 女性1名
大崎管内 女性2名
仙南管内 女性1名
仙台管内 男性1名(第7週)、男性2名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: 報告なし

5類感染症: ウイルス性肝炎

石巻管内 男性1名
侵襲性肺炎球菌感染症
塩釜管内 女性1名
梅毒
仙台管内 男性1名

【定点把握対象疾患】

[インフルエンザ]

仙南、塩釜、大崎、栗原、登米、石巻、仙台管内で警報継続中

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

仙南、石巻管内で警報継続中

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性集団発生患者等より

塩釜管内 第8週採取分 ノロウイルスGⅡ群 26件

インフルエンザ患者より

気仙沼管内 第6週採取分 インフルエンザウイルスAH3型 4件
大崎管内 第7週採取分 インフルエンザウイルスAH3型 2件
石巻管内 第7週採取分 インフルエンザウイルスAH3型 1件
塩釜管内 第8週採取分 インフルエンザウイルスB型 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第5週採取分 (1.30～2.5)	第6週採取分 (2.6～2.12)	第7週採取分 (2.13～2.19)
インフルエンザウイルスA(H1)pdm9	0件	0件	1件
インフルエンザウイルスA(H3)	23件	5件	3件
インフルエンザウイルスB	0件	1件	0件
RSウイルス	2件	0件	0件
アデノウイルス	0件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス1型	0件	1件	0件

4. 今週のコメント

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

A群溶血性レンサ球菌の感染により、高熱・咽頭痛・嘔吐等を主症状とする上気道感染症で、合併症として腎炎等を引き起こすことがある疾患です。県内の患者報告数が3週連続して増加傾向となっていますので、今後の流行状況に注意し、基本的な予防対策を徹底してください。

【インフルエンザ】

第5週から4週連続して減少傾向となっていますが、依然として患者の多い状況は続いています。今シーズンは患者からAH3型が多く検出される傾向でしたが、今週採取された検体からB型が検出されており、今後の動向に注意が必要です。

宮城県定点週報告対象疾病の推移

